

鹿児島県の 臨床研修病院

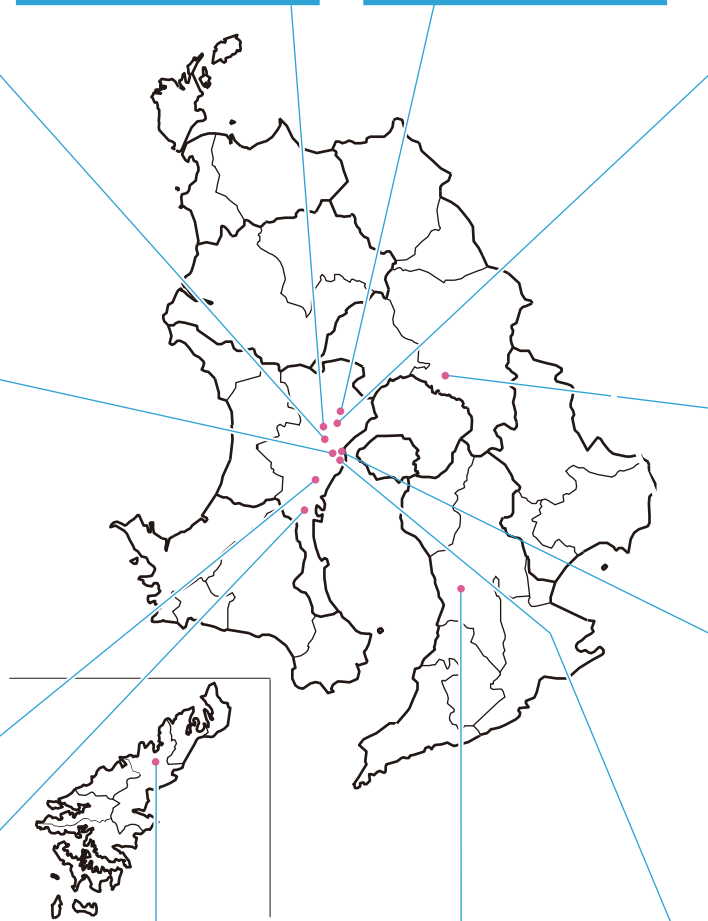


令和5年度 採用

熱い、
ハートの
医師
育てます!

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会

鹿児島県内の基幹型臨床研修病院のご紹介



鹿児島流 熱いハートの医師育てます！		P 1
協議会イベントスケジュール		P 26～P 27
先輩達からのメッセージ		P 27

熱いハートの医師育てます！

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会って？

- 県内の基幹型臨床研修病院と、県医師会、鹿児島大学、鹿児島県公的病院会、全日本病院協会鹿児島県支部及び鹿児島県が一体となって設立した組織で、「オールかごしま」体制で、県内で働く研修医を増やすための活動や、充実した研修ができるためのサポートをしています。

鹿児島での研修の魅力って？

- **県内の複数の基幹型臨床研修病院で研修をすることができます！**
2ページ以降の各病院の紹介ページで研修協力病院・研修協力施設を掲載しています。基幹型臨床研修病院同士が研修協力病院になっているところも！！「オールかごしま」の風通しの良さが魅力です。
- **全ての基幹型臨床研修病院で、研修の途中でスケジュールの変更の相談に応じています！**
研修が進むにつれて、やはり元々の予定とは違う診療科でもっと研修したい！と思ったときなど、鹿児島の基幹型臨床研修病院では研修医からの研修スケジュールの変更のご相談に応じています。このように自由度の高いところも鹿児島の魅力です。
- **研修医に勉強会の場を！**
県内の研修医が一堂に会し、症例発表会を行っています。同期がどのような症例にあたり、研鑽を積んでいるのかを勉強できる機会です。研修会後の情報交換会では違う病院で働く研修医同士が和気あいあいと話をする様子も見られます。

鹿児島での研修についてもっと知りたい！

- **県内での臨床研修について、様々な場所でご案内しています！最新情報をゲット！**

県外医学生等出前セミナー

鹿児島の指導医や研修医が県外医学生の住むまちで、無料で県内の臨床研修プログラムの説明をしています。1名の参加でも随時行っていますので、ぜひ現場の生の声を聞いてみては？！ご希望の方は裏表紙に記載している協議会事務局までご連絡ください！！ご相談に応じてオンライン形式でも対応いたします！！

臨床研修病院見学ツアー

1年に1回、県内の臨床研修病院を1日かけて、2～3病院を巡るバスツアーを実施しています。本格的な病院見学に行く前段階として、効率よく見学することができます。また、県外医学生には旅費の一部助成も行っています。

臨床研修病院オンライン合同説明会

鹿児島県内の全ての基幹型臨床研修病院による合同説明会を開催します。(オンライン方式、対面方式)それぞれの病院の指導医や研修医が、それぞれの病院のプログラムや特徴を詳しくご説明します。開催時期など詳しい情報については27Pをご覧ください。

いまきいれ総合病院

病院の概要

所在地 〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号
開設者 公益社団法人昭和会 代表理事 今給黎 和幸
開設年月日 昭和40年7月1日（財団法人設立）
病院長 濱崎 秀一
病床数 350床（一般病床）
診療科目 内科、糖尿病内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、新生児内科、頭頸部・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科 30診療科
医師数 常勤95名（初期研修医14名含む）
※令和4年4.1現在
指導医数 31名（指導医講習会修了者）
1日平均外来患者数 225名（令和3年度実績）
1日平均入院患者数 295名（令和3年度実績）



いまきいれ総合病院 2021年1月開院

臨床研修プログラムの特徴

目的：プライマリ・ケアに対処し得る第一線の臨床医・専門医・救急専門医を目指すために必要な基本的な知識・技能の習得および医療人としての人間形成を目標とし、地域社会とのかかわりを通して医師としての専門性と社会性を等しく身に付けることに重点を置いています。

特徴：プライマリケア、一次・二次の救急医療、急性期医療、病診連携、患者の社会的背景を考慮した医療、医療福祉を一貫して習得でき、基本的には研修医の自主性に重点を置いたプログラムです。

- 1) 救急疾患の症例が多く、内科・外科ともに救急患者の経験が可能
- 2) 複数診療科での合同カンファレンスが日常的にあり、これらには放射線科と病理診断科が常時参加し、研修医も自由に参加できる
- 3) 精神科と地域医療以外は院内で研修可能なため、落ち着いて研修できる
- 4) 多職種も積極的に研修医と関係づくりをしている
- 5) 当直は指導医と共に、救急患者が多く学ぶことも多い準夜帯（17：00～22：00）の勤務が主となっており、そのため翌日の勤務への負担が少ない

臨床研修スケジュール

※順不同、一例です。 ※プログラムは個別に打ち合わせの上、作成します。

	24 週		4 週	4 週	4 週	4 週	12 週
1 年次	必修 内科系		必修 救急	必修 麻酔	必修 産婦	必修 外科	選択 ※希望診療科にて研修
	救急外来の準夜当直勤務を2年間で40回以上経験する						
	4 週	4 週	4 週	40 週			
2 年次	必修 地域医療	必修 精神科	必修 小児科	選択（必修科も含む） ※希望診療科にて研修			

地域医療	公立種子島病院・長島町国保鷹巣診療所・小林市立病院・種子島医療センターの中から選択し、4週の研修を行う
精神科	谷山病院・奄美病院・メンタルホスピタル鹿児島の中から選択し、4週の研修を行う
選択科	全診療科より選択・組み合わせる。期間、時期は希望に合わせて調整。
一般外来	小児科、地域医療、内科、外科にて経験する

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 谷山病院（精神科）、鹿児島大学病院（選択）、鹿児島市立病院（総合周産期母子医療センター）、メンタルホスピタル鹿児島（精神科）※（厚生局へ申請中）

研修協力施設 長島町国保鷹巣診療所（地域医療）、公立種子島病院（地域医療）、小林市立病院（宮崎県：地域医療）、天陽会中央病院（心臓血管外科・循環器内科）、奄美病院（精神科）、上町いまきいれ病院（眼科）、種子島医療センター（地域医療）※（厚生局へ申請中）

新専門医研修プログラム

新専門医制度において、当院はすべての診療科においても連携施設として基幹施設と共同して研修を実施いたします。

内科	(基幹施設：鹿児島大学病院・福岡大学病院・昭和大学)	病理診断科	(基幹施設：鹿児島大学病院)
外科	(基幹施設：鹿児島大学病院・福岡大学病院)	皮膚科	(基幹施設：鹿児島大学病院)
耳鼻咽喉科	(基幹施設：鹿児島大学病院)	産婦人科	(基幹施設：鹿児島市立病院)
麻酔科	(基幹施設：鹿児島大学病院)	脳神経外科	(基幹施設：鹿児島大学病院)
形成外科	(基幹施設：昭和大学)	眼科	(基幹施設：鹿児島大学病院・昭和大学病院)
小児科	(基幹施設：鹿児島大学病院)	放射線科	(基幹施設：鹿児島大学病院)
整形外科	(基幹施設：鹿児島大学病院・昭和大学病院)	救急科	(基幹施設：鹿児島大学病院)
泌尿器科	(基幹施設：鹿児島大学病院)		

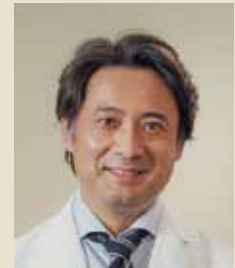
病院のアピールポイント

「いまきいれ総合病院」は、鹿児島市の中心部からほど近い高麗町にある350床の急性期病院です。
当院は、昭和13年に開設された公益社団法人で、開院以来80年超の歴史を有し、令和3年1月1日より現在地にて診療を行っています。
診療科数は30を集約、これまでの実績を生かし、地域がん診療連携拠点病院としての発展、救急医療や周産期医療の拡充などを柱に、地域の医療機関と緊密に連携し、ロボット支援手術など、高度で専門性の高い急性期医療の強化・提供を行っています。

◆主な施設認定・施設基準◆

- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域医療支援病院
- ・鹿児島県へき地医療拠点病院
- ・鹿児島県地域医療周産期母子医療センター
- ・洋上救急業務支援協力医療機関
- ・鹿児島県重症難病医療協力病院（短期入所施設）
- ・鹿児島県高規格救急車指示病院
- ・鹿児島県 DMAT 指定病院

- 1) 救急件数は年間5000件以上。離島救急も積極的に受け入れています。
- 2) 整形外科医が充実しており、形成外科と共同で重度外傷や四肢切断の再建対象となるような救急も受け入れています。
- 3) ほとんどすべての診療科が同じ医局内にあり、気軽に指導医と会話ができて、相談しやすい環境にあります。
- 4) 桜島が一望できる9階に研修医室が設置されています。



研修プログラム責任者 / 理事長
イマキイレ カズユキ
今給黎 和幸

初期研修医処遇

身 分	研修医（常勤）	加入保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
基 本 給	1 年次 月額 330,000円	当直手当	準夜手当10,000円/回、当直手当25,000円（条件あり）、 日祝日直20,000円/回、年末年始・GW5,000円/回、 オンコール手当6,000円/回 ※全て税込
	2 年次 月額 350,000円		
賞 与	1 年次 年2回（年額700,000円）	通勤手当	10,000円/月
	2 年次 年2回（年額770,000円）	宿舎（住宅手当）	近隣の賃貸マンション（上限50,000円/月支給）
出 張	学会・研修会への参加可（旅費支給など）	その他手当	書籍手当42,000円/月
休 暇	年次有給休暇（1年次10日、2年次11日）、夏季休暇（3日）、年末年始（4日）、祝祭日、その他	そ の 他	医師会費（医師賠償責任保険）は病院負担、健康診断（年2回） 時間外労働想定上限時間数（年単位換算）：900 時間（時間外手当あり）

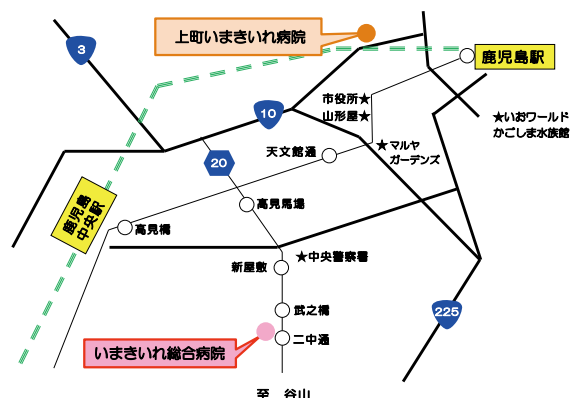
募集要項

- 募集定員** 8名
応募資格 医師国家試験合格予定者
 マッチングプログラム参加者
応募締切 令和4年6月～8月（予定）
 ※当院HPにてご確認下さい
試験日程 当院HPにて確認下さい
試験内容 面接、書類選考で総合的に判断します

応募連絡先

所在地 〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号
担当部署 人事総務経理課
電 話 099-252-1090
F A X 099-203-9119
E-mail jinji@imakiire.or.jp
U R L <https://imakiire.jp>
 研修医サイト <https://imakiire-resident.com/>

交通案内



今村総合病院

病院の概要

所在地 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町11-23
開設者 公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁
開設年月日 昭和59年4月1日
病院長 帆北 修一
病床数 428床
診療科目 救急科、内科、血液内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、脳神経内科、人工透析内科、循環器内科、放射線科、泌尿器科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、脳神経外科、精神科、整形外科、ペインクリニック内科、気管食道・耳鼻咽喉科、外科、消化器外科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科
医師数 178名（常勤111名、非常勤67名）
指導医数 34名（指導講習会受講済）
1日平均外来患者数 528.7名
1日平均入院患者数 345.9名



臨床研修プログラムの特徴

- ◆ 主治医感が育つように病院全体でバックアップ
- ◆ 病歴と身体所見を大切にする総合内科での指導
- ◆ 1年目は基本的な診療技能を習得するため病院推奨の診療科をローテートし、2年目は自由度の高い選択を可能としている
- ◆ 毎朝のカンファレンスや勉強会
- ◆ 県外病院との連携が豊富にあり、当院で研修できない領域をカバー
- ◆ 感染症診療をしっかりと習得できる

臨床研修スケジュール（例）

週	1-4	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
1 年 次	脳神経内科 (8週)	麻酔科 (8週) ※4週は救急としてカウント	救急 8週	大学病院 選択	外科 (8週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)						
2 年 次	精神科 4週	地域医療 4週	一般外来 4週	選択 (36週)									選択 (今村) 4週

■ 原則として、研修期間全体の1年以上は、基幹型臨床研修病院で研修を行うことが義務づけられています。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 いづろ今村病院、谷山病院、鹿児島こども病院、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、飯塚病院、聖マリア病院、浦添総合病院、いまきいれ総合病院、霧島市立医師会医療センター

研修協力施設 俱知安厚生病院、五反田内科クリニック、奄美病院、徳之島病院、中央病院、小林市立病院、高麗町クリニック、介護老人保健施設愛と結の街、かごしまオハナクリニック、愛育病院、鹿屋医療センター

新専門医研修プログラム

<基幹施設>

慈愛会内科専門研修プログラム 慈愛会総合診療専門研修プログラム
連携施設他その他詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。

病院のアピールポイント

24時間365日救急医療の充実

高機能モダリティの数々

充実した手術環境と実績

がん診療体制の充実



屋上ヘリポート



高精度放射線治療装置



手術室(全6室)



化学療法室(20床)

当院の研修プログラムの特徴としてあげられるものに以下の4つがあります。

- 1.総合内科の充実:総合内科を専門とする指導医による、病歴と身体所見を重視した毎朝のカンファレンスと勉強会に加え、毎日の回診でベッドサイドで直接指導を受けながら学ぶスタイル。総合内科を24時間行う救急・総合内科というスタイルとしては全国的にも早く(2001年)から行っています。
- 2.主治医感を大切にする:1年目の4月から主治医として担当してもらいます。もちろんバックアップ体制は整っています。とても大変ですが、見学的な研修よりも責任感がついて自ら勉強するようになり、早期に実力がついていきます。コメディカルも研修医を主治医として扱ってくれますので、どんどん相談がきます。これがまた勉強になるのです。
- 3.研修の自由度が高く、県外の研修病院先が豊富:当院の弱みである外傷疾患や脳卒中以外の神経疾患、インターベーションを行う循環器疾患などについては、県外を含めた総合病院で自由に選択して研修できます。(2年目)また地方病院での研修は自分の実力を試す、武者修行の役割もあります。
- 4.感染症診療(発熱診療)についてしっかりと学べる:グラム染色を基本に、感染症的な病歴、身体所見の取り方など、全科に渡って関係のある発熱診療をしっかりと学べます。
- 5.屋根瓦式研修:1学年上の先輩だけでなく、当院で専門研修を行っている卒後3-5年目の若手医師、ヤングスタッフ、ベテラン医師と揃っており、相談しやすく、将来の目安がわかりやすい環境にあります。



初期研修医処遇

身 分	常勤医師	加 入 保 険	協会保険、厚生年金、労災、雇用保険、医師賠償責任保険
基 本 給	1 年 次	400,000円	当 直 手 当
	2 年 次	400,000円	1 年 次: 15,000円、2 年 次: 25,000円/回
賞 与	1 年 次	年2回(計466,667円)	通 勤 手 当
	2 年 次	年2回(計1,000,000円)	45,000円(上限) 詳細規定有り
出 張	年2回(1回上限8万円)	宿 舎(住宅手当)	20,000円(上限)、宿舎なし、詳細規定有り
休 暇	有給休暇 1 年 次 10 日、2 年 次 11 日	そ の 他 手 当	扶養手当
		そ の 他	健康診断有り、医師会費病院負担、Up To Date 2 年契約、教科書配布

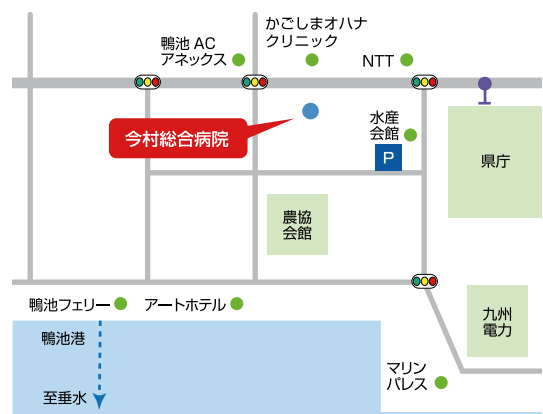
募集要項

募集定員 10名
応募資格 第117回医師国家試験を受験予定及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 2022年7月30日(土)
試験日程 2022年8月9日(火)、8月16日(火)、8月23日(火)
試験内容 書類選考、面接

応募連絡先

所 在 地 鹿児島市鴨池新町11-23
担当部署 事務部総務課 松ヶ野・栗ヶ窪
電 話 099-251-2221
F A X 099-250-6181
E-mail sougou.rinken@jiaikai.jp
U R L <http://www.jiaikai.or.jp/imamura-general>

交通案内



大隅鹿屋病院

病院の概要

所在地 〒893-0015 鹿屋市新川町6081-1
開設者 安富祖 久明
開設年月日 昭和63年
病院長 中山 義博
病床数 391床
診療科目 内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・泌尿器科・肛門科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科

医師数 40.6名（非常勤3.6名）
指導医数 17名
1日平均外来患者数 239.5名
1日平均入院患者数 354.2名



臨床研修プログラムの目的と特徴

このプログラムは、基本的な診療能力を体得すると共に、高齢化が急速に進む大隅半島において、地域包括ケアの視点から全人的ケアが出来る医師として人格形成を目指す。以下の3点を重視した研修を行います。

1. 地域の最後の砦として何でも診る

救命救急センターや大学病院への搬送は救急車を使っても2時間近くかかるため、まずは当院で診ることが非常に重要です。「当院で断ったら次に搬送する先がない」という地域における自院の役割を認識し、専門に関わらず「まずは診てみる」というマインドが2年間で自然に身についていきます。

2. 入り口から出口まで一貫して一人の患者を診る

都会の大病院ほど救急症例、入院症例が多くはない環境を利用して、研修医が受け持った救急症例が入院となる際には、入院後も担当医として診療に関わる体制を取っています。また、内科研修においては退院後のフォローアップも研修医が担当することにより、急性期から慢性期まで一人の患者の経過を診ることが可能です。昨今の平均在院日数が短くなっている状況において、糖尿病やCOPDなど長期のフォローが重要な疾患についても研修を行うことを目指しております。

3. 研修医も大切なチーム医療の一員である

病院全体の医師数が決して多くはないため、研修医は学習者としての存在であると同時に大切なチーム医療の一員です。地域医療の最後の砦となる病院において、医療チームの重要なメンバーという自覚を持つことはプロフェッショナリズム醸成に大きく寄与しております。

臨床研修スケジュール

【プログラム例】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科				循環器		外科		外科選択		救急	
	救急											
2年次	産婦人科	小児	地域医療		精神科	選択科						

「現在、厚生労働省に申請中」

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿屋医療センター、福岡徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、宮崎大学医学部附属病院、島根大学附属病院
札幌東徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、県南病院

研修協力施設 徳田脳神経外科病院、札幌南青州病院、静内病院、笠利病院、皆野病院、庄内余目病院、白根徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、垂水徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、新庄徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、宮古島徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、喜界徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、山北徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、山川徳洲会病院

新専門医研修プログラム

日本内科学会（大隅鹿屋病院内科専門研修プログラム）
日本外科学会（大隅鹿屋病院外科専門研修プログラム）
日本総合診療学会（大隅鹿屋病院総合診療専門プログラム）

病院のアピールポイント

★研修医より

研修先の候補はいくつかあって、九州大学のある福岡県、実家のある熊本県、研修環境次第で九州の外も考えていました。実際に可能性のあるすべての病院を見学しましたが、一番フィーリングがあったのが大隅鹿屋病院でした。

忙しい病院だったり症例数が多い病院は他にもありました。それでも大隅鹿屋病院が良いと感じたのは、上から下に教えるという土壌が育っていると感じたからだと思っています。正直なところ立地が良いとは言えないところが気かりでしたが、実際に住んでみると近くにお店が一通り揃っていて、思った以上に住みやすそうな街で安心しました。

これから研修を始めるにあたっての抱負ですが、来年は自分が後輩に教えられるようになる心意気で臨みたいです。

★病院長より

当院は、陸の孤島とも呼ばれる鹿児島県大隅半島の中心部にある病院です。田舎ではありますが、陸の孤島である為に、患者を安易に搬送する事が出来ず、中核病院としてレベルの高い医療を求められています。

各診療科の指導医はその期待に答えるべく一般診療は勿論、高度先進医療や学会活動などにも積極的に取り組んでいます。

さらに、全国から講師を招き、院内講演会の開催を行ったり、各地で行われる医療セミナーにも参加させ、研修医を育てるための支援を積極的に行っています。



研修医 イワナガ マサオ
岩永 勝臣



病院長 ナカヤマ ヨシヒロ
中山 義博



外科研修



カンファレンス



救急研修

初期研修医処遇

身 分	常勤	加入保険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災、医師賠償責任保険
基 本 給	1年次	300,000円	当直手当
	2年次	320,000円	1年次25,000円×5回程度、2年次 30,000円×5回程度
賞 与	1年次	年2回（400,000円）	通勤手当
	2年次	年2回（640,000円）	～15,000円（上限）
出 張 休 暇	学会参加交通費、宿泊費、参加費負担	宿舎（住宅手当）	50,000円（上限）で半額負担
	有給休暇（10日）、夏休み4日、年末年始（4日）	その他手当	扶養手当、残業手当（最低40,000円～）
		そ の 他	学会年会費年1学会病院負担、学会発表は何回でも無制限で病院負担

募集要項

募集定員 5名
応募資格 今年度医師国家試験受験者（その他相談可）
応募締切 令和4年10月11日（随時募集）
試験日程 令和4年8月2日、9日、16日、23日、30日（その他相談可）
試験内容 面接、小論文

応募連絡先

所在地 鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
担当部署 臨床研修センター
電 話 0994-40-1111
F A X 0994-41-8355
E-mail kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
U R L <http://www.kanoya-aishinkai.com/>

交通案内



鹿児島医療センター

病院の概要

所在地 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
開設者 独立行政法人国立病院機構
開設年月日 平成16年4月1日
病院長 田中 康博
病床数 410床
診療科目 内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳・血管内科、神経内科、脳神経外科、小児科、放射線科、心臓血管外科、外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、婦人科、泌尿器科、皮膚腫瘍科・皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、眼科、腎臓内科
医師数 78名（常勤）、41名（非常勤）
指導医数 37名 ※指導医養成講習会受講済
1日平均外来患者数 407.5人（令和3年度実績）
1日平均入院患者数 292.2人（令和3年度実績）



臨床研修プログラムの目的と特徴

【研修プログラムの目的】

1. 基本的な診察法を身につける
2. 日常診療に必要な手技を会得する
3. 診断・治療への考え方を身につける
4. 医療におけるチーム医療への実践を行う
5. プロフェッショナリズムを有する臨床医の礎を築く

【研修プログラムの特徴】

当センターの臨床研修プログラム「城山」は、厚生労働省の初期研修医到達目標を基礎とし、先輩研修医、上級医、指導医、専任秘書の助言を参考にしながら、オーダーメイド型でプログラムを作れます。地域から信頼されている病院で、一次から高度先進医療までを豊富に経験できます。将来の礎を私たちの病院で築いてください。

臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系（24週）						外科系（16週）				救急部門（4～12週）	
2年次	精神科（4週）	小児科（4週）	産婦人科（4週）	地域医療（4～12週）	希望選択（20～32週）						鹿児島医療センター選択（4週）	

※2年間の研修のうちに一般外来での研修を合計4週実施する。

外科系	合計16週の研修を行う。（協力病院・施設での研修は4週まで） ※16週のうち4週は当院の外科・消化器外科もしくは心臓血管外科を選択する。
一般外来	4週の研修を行う。 ※内科、外科、小児科、地域医療の研修が可能な施設で並行研修を行うことができる。
救急部門	合計12週の研修を行う。 ※4～8週の研修と救急当直40～20回以上で、救急部門12週相当とすることも可能。
希望選択	当院または協力病院から自由に選択する。最長で32週の希望選択期間。 ※到達目標の達成度を考慮して選択する。
鹿児島医療センター選択	当院の診療科から自由に選択する。 ※到達目標の達成度を考慮して選択する。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島大学病院（全診療科）、鹿児島市立病院（全診療科）、霧島市立医師会医療センター（全診療科）、南風病院（呼吸器科、消化器科、腎臓内科、整形外科）、いまきいれ総合病院（総合内科、外科、小児科、産婦人科、形成外科）、今村総合病院（総合内科、救急部門）、県立大島病院（内科、外科、小児科、産婦人科、地域医療）、信州大学医学部附属病院（救急科）、指宿医療センター（全診療科、地域医療）、南九州病院（全診療科）、熊本医療センター（救急科）、長崎医療センター（救急科）、鹿児島厚生連病院（全診療科）、米盛病院（整形外科、救急科）、出水総合医療センター（外科、小児科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経外科、整形外科）、いづろ今村病院（総合内科）、県民健康プラザ鹿屋医療センター（内科、外科、地域医療）、県立薩南病院（内科、外科、地域医療）、県立北薩病院（内科、外科、小児科、地域医療）、鹿児島こども病院（小児科）、伊敷病院（精神科）、谷山病院（精神科）、県立始良病院（精神科）

研修協力施設 種子島医療センター(小児科、地域医療)、宮上病院(地域医療)、下甕手打診療所(地域医療)、枕崎市立病院(地域医療)、肝付町立病院(地域医療)、伊集院産婦人科(産婦人科)、愛育病院(産婦人科)、相良病院(乳腺科)、ナカノ在宅医療クリニック(在宅医療)

臨床研修スケジュール

鹿児島医療センター内科専門研修プログラム
(定員：3名)

当院は、がん、脳卒中、心臓病を中心にした急性期病院です。研修期間は、当院（基幹施設）2年、連携施設・特別連携施設1年で合計3年間としています。日本内科学会の定める「内科専門研修カリキュラム」に基づいた、内科専門医に求められる知識・技能の習得を目指します。内科専門医だけでなく、Subspecialty研修（消化器、糖尿病、内分泌、血液内科、腎臓、循環器等）を並行して行うこともできます。

研修中、専攻医の希望に合わせてフレキシブルな対応ができるようにプログラムを編成します。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

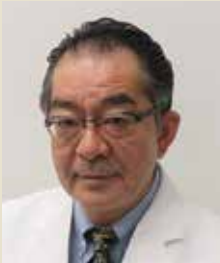
＜研修パターン1＞													＜研修パターン2＞												
専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設内科（ローテーションは自由選択）												連携施設（自由選択、1施設3ヵ月以上）												
	救急当直（平日1回/月、土・日・祝祭日1回/月）												救急当直（平日1回/月、土・日・祝祭日1回/月）												
	JMECC受講												JMECC受講												
	医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												
2年目	連携施設（自由選択、1施設3ヵ月以上）												連携施設（自由選択、1施設3ヵ月以上）												
	初診＋再診外来（1回/週）												初診＋再診外来（1回/週）												
	医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												
	病歴提出準備												病歴提出準備												
3年目	基幹・連携施設での研修継続、あるいは基幹施設診療科に所属してSubspecialty研修を開始するかは2年目までの状況によって自由選択												基幹・連携施設での研修継続、あるいは基幹施設診療科に所属してSubspecialty研修を開始するかは2年目までの状況によって自由選択												
	初診＋再診外来（1回/週）												初診＋再診外来（1回/週）												
	医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												医療安全・医療倫理・感染対策講習会受講（2回/年以上）、CPC受講												
	病歴提出準備												病歴提出準備												

※ 鹿児島医療センターの内科系診療科は、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、脳血管内科、糖尿病、内分泌内科、腎臓内科の7診療科からなる

※ 鹿児島医療センターの内科系診療科は、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、脳血管内科、糖尿病・内分泌科、腎臓内科の7診療科からなる。

病院のアピールポイント

- 地域から信頼される病院です
「循環器・がん・脳卒中」を中心に高度医療を支えています。医療圏内の4割弱の循環器の患者さん（包括医療制度病院内）が受診されます。がん・脳卒中も2〜3割の患者さんが受診されます。
- 歴史を重んじ、進歩を続けます
医療を取り巻く環境は刻一刻変化します。当院の前身は昭和20年に開設された国立鹿児島病院から始まっています。
昭和49年鹿児島大学医学部附属病院が桜ヶ丘地区に移転しましたが、その跡地に建設を許可されました。歴史を重んじながら、循環器・がん・脳卒中を中心に、信頼される病院として機能できるよう、常に考えながら行動を続けています。
- 臨床能力・学術活動・教育啓蒙に精通した指導医が各診療科に揃っています
鹿児島大学病院との結びつきも強く、助教、講師、准教授出身者が多く存在します。臨床研究部があり、医学博士取得も可能です。
- 初期臨床研修医は「宝石の原石」と考えています
初期臨床研修医が将来に羽ばたき、それぞれ個性を持った輝く宝石となっていただくために、先輩研修医、上級医、指導医、看護師、コメディカルスタッフ、事務方が心のこもった教育・指導を心がけています。



外科・消化器外科主任部長
コマカタ ヒロアキ
輝夫

初期研修医処遇

身 分	期間職員		加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
基 本 給	1年次	月額 426,400 円	当直手当	20,000円/回
	2年次	月額 455,800 円	通勤手当	～55,000円（上限）※支給要件あり
賞 与	1年次	—	宿 舎 (住宅手当)	単身用・世帯用宿舍あり(約 18,000 ～ 22,000 円 / 月)、住宅手当無し
	2年次	—		
出 張	学会、研修会への参加可能（演者の場合：旅費を支給）		その他手当	時間外手当
休 暇	年次有給休暇20日（※リフレッシュ休暇3日）、年末年始		そ の 他	病院見学は随時受け付けております。（旅費補助あり）BLS、ACLS等受講料補助あり。

募集要項

募集定員 15名

応募資格 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年医師臨床研修マッチングに参加する者

応募締切 試験は2回予定
詳細が決まり次第、HPにてお知らせします。

試験日程 試験は2回予定
詳細が決まり次第、HPにてお知らせします。

試験内容 書類選考、面接試験

応募連絡先

所 在 地 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

担当部署 管理課（庶務班長：入江、研修医事務係：前田）

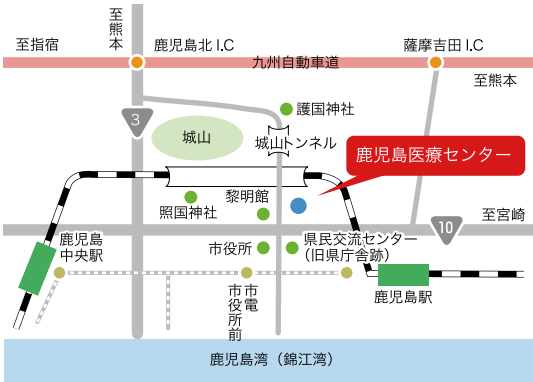
電 話 099-223-1151

F A X 099-226-9246

E-mail maeda.sonomi.fm@mail.hosp.go.jp

U R L http://kagomc.hosp.go.jp

交通案内



至宿 至熊本 至宮崎

鹿児島北 I.C. 薩摩吉田 I.C.

九州自動車道

護国神社 城山 城山トンネル 鹿児島医療センター

黎明館 照国神社 市役所 市役電所前 鹿児島中央駅 県民交流センター(旧県庁舎跡) 鹿児島駅

鹿児島湾（錦江湾）

自動車 九州自動車道 鹿児島北ICより約15分
薩摩吉田ICより約30分

JR・バス JR鹿児島中央駅下車 市電にて市役所前下車(20分、2.5km)
JR鹿児島駅下車 徒歩15分(車5分)
※駐車場が狭いので公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

鹿児島県立病院群

基幹病院（県立大島病院）の概要

所在地 〒894-0015 奄美市名瀬真名津町18番1号
開設者 鹿児島県
開設年月日 明治34年3月29日
病院長 石神 純也
病床数 350床
診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科
医師数 71名（常勤51名、非常勤20名）[R4.4.1現在]
指導医数 11名
1日平均外来患者数 446.0人
1日平均入院患者数 224.5人



臨床研修プログラムの特徴

各種疾患に対するプライマリ・ケアの習得を基本とし、第一線の臨床医を目指すとともに、研修後半では、将来の目標に応じて、希望分野における専門的な知識・技術を修得できます（40週以上の専攻科）。大島病院を基幹病院とし、南北600kmの県内各地にある協力病院・協力施設と連携した研修体制で、臨床医としての社会的責任、考え方を涵養します。また、それぞれの地域の実情に応じた診療も体験できます（特にB、Cプログラム）。さらに、大島病院には平成26年6月から地域救命救急センターと同時に運用を開始した臨床研修センターがあり、本格的な臨床トレーニングのための医療シミュレーター等も整備しているほか、平成28年12月からは奄美ドクターヘリの基地病院となっており、離島地域における救急医療も経験することができます。

県立病院事業管理者 福元 俊孝
 県立大島病院長 石神 純也

臨床研修スケジュール

Aプログラム（定員4名）【奄美大島完結 or 鹿大病院選択】

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1年目	内科 (24週以上)												救急分野 (12週以上)				外科 (4週以上)		小児科 (4週以上)		精神科 (4週以上)		
	大島病院																						
2年目	地域医療 (4週以上)		産婦人科 (4週以上)		専攻科 (40週以上)																		
	へき地診療所等		大島病院		大島病院又は鹿児島大学病院から選択。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や名瀬保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内）。																		

Bプログラム（定員4名）【大島病院→本土「県立病院+協力病院」】

5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1年目	大島病院																				
	内科 (24週以上)										救急分野 (12週以上)					外科 (4週以上)		小児科 (4週以上)		精神科 (4週以上)	
	大島病院										選択		選択		奄美、姶良 から1か所						
2年目	地域医療 (4週以上)		専攻科① (12週以上)						産婦人科 (4週以上)		専攻科② (28週以上)										
	へき地 診療所等		鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院 のいずれか1か所を選択						選択		選択										

小児科：大島病院、鹿屋医療センター、北薩病院、鹿児島医療センターのいずれか1か所を選択

外科：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、鹿児島医療センター、南風病院のいずれか1か所を選択

産婦人科：大島病院、鹿屋医療センターから選択

専攻科①：大島病院以外の県立病院のうち1か所で研修 ※ 必修診療科の小児科・産婦人科・外科を1か月（4週+α）に限り含めることが可能。

専攻科②：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、始良病院、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、南風病院、鹿児島市立病院から選択（ただし、県立病院以外の医療機関は1か所とする。また、鹿児島市立病院での研修は、救急部門を除く診療科を選択可能（8週以内）。）。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内。研修できる保健所は、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所とし、宿舎確保の観点から県立病院での研修中または研修翌月に最も近い保健所での研修とする。）。

Cプログラム（定員4名）【本土「県立病院+協力病院」→大島病院→本土「県立病院+協力病院」（大島も可）】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)							外科 (4週以上)	小児科 (4週以上)	精神科 (4週以上)	救急分野 (12週以上)		
	鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院 のいずれか1か所を選択							選択	選択	奄美、始良 から1か所	大島病院		
2年目	専攻科① (20週以上)					地域医療 (4週以上)	産婦人科 (4週以上)	専攻科② (20週以上)					
	大島病院					へき地 診療所等	選択	選択					

小児科：大島病院、鹿屋医療センター、北薩病院、鹿児島医療センターのいずれか1か所を選択

外科：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、鹿児島医療センター、南風病院のいずれか1か所を選択

産婦人科：大島病院、鹿屋医療センターから選択

専攻科②：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院、始良病院、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、南風病院、鹿児島市立病院から選択（ただし、県立病院以外の医療機関は1か所とする。また、鹿児島市立病院での研修は、救急部門を除く診療科を選択可能（8週以内）。）。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内。研修できる保健所は、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所とし、宿舎確保の観点から県立病院での研修中または研修翌月に最も近い保健所での研修とする。）。

＜全プログラム共通＞

- ・内科、小児科、外科、地域医療において、一般外来での研修を4週以上実施する（並行研修可）。
- ・当プログラムにおいては、2年間を通じて週1回以内の宿直研修及び月1回以内の日直研修を行う。
- ・救急分野の研修では、救急科所属とし、麻酔科での研修も含む（救急分野としての麻酔科研修は4週を上限）。
- ・研修プログラムの診療科については、研修期間中本人の要望に応じて各種条件を満たせば変更も可能。

研修協力病院・研修協力施設

県立病院群 鹿屋医療センター、県立薩南病院、県立北薩病院、県立始良病院
その他 鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院、奄美病院、瀬戸内町へき地診療所、枕崎市立病院、
 兵庫県立淡路医療センター、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所、大島郡医師会病院、
 南さつま市立坊津病院、みんなの診療所

新専門医研修プログラム

精神科領域専門医研修プログラム（県立始良病院）

病院のアピールポイント

県立大島病院



鹿屋医療センター



県立薩南病院



県立北薩病院



県立始良病院



多くのへき地や離島を有する鹿児島県において、五つの県立病院は、地域の中核的医療機関として、地域医療を守る一翼を担っています。また、平成28年12月には、大島病院を基地病院とし、全国で48機目となる奄美ドクターヘリの運航を開始し、奄美地域における救急医療体制の充実・強化に努めています。

当研修プログラムでは、これら県立5病院のほか、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院など研修協力15病院等の特色・得意分野を活かし、へき地医療から高度・救急医療まで、地域医療の総合的な研修が可能です。

また、40週以上の選択科目により、将来の目標に応じた専門的知識や技術を得得できるとともに、ICLSの資格取得や手技を中心とした研修医合同セミナーへの参加など、研修機会も充実していることから、プライマリ・ケアに関する実践的な臨床能力を身に付けたい方にお勧めです。

地域医療に関心のある皆さん、あなたの医師生活の第一歩を地域医療の最前線から踏み出してみませんか。私達は総力を挙げてサポートします。

【研修医からのメッセージ】2年目研修医 大谷 昂



○見学しないとわからない！奄美と救急医療の魅力！

「奄美の医療」と聞いてどんなことが思い浮かぶでしょうか？人によってイメージは様々だとは思いますが、県立大島病院の大きな特徴である救命救急センターでは、ドクターヘリでの重症対応からハブ救傷やダイバーの潜水病といった地域特有の疾患のケアまで、幅広い医療が求められています。

実際の研修では軽症から重症までほとんど全ての症例で初期対応を行っており、自分の診療に対して上級医からフィードバックをもらえる、という形になっています。救急の「最前線」で実践を重ね、より先のステップまで見通しを持って診療ができるようになることで自分の成長を感じることができます。

島特有の魅力的な環境も含め、ぜひ一度見学に来て「奄美の医療」を感じてください。

○1日の研修スケジュール

<救急科>

8:00～ 朝カンファ

前日の症例の振り返り、初期対応の見直しからちょっとしたコツまで。

8:30～ 救急外来

脳梗塞も骨折も、まずは研修医で診察・評価を。

患者さんがいない時間は手技の練習をすることもあります。

17:00～ 研修医ミーティング

週に1-2回、各科の先生の講義や研修医同士の症例検討などを行います。

○大島病院臨床研修センターブログ

医療人育成に関する取組みや各種レクチャー動画などを紹介しています。



○最後に（医学生へ向けて一言）

初期研修、たかが2年間、されど2年間です。研修内容や環境との相性も含め、実際に見学に行かないとわからない部分もたくさんあります。気になった病院にはぜひぜひ実際に足を運んでみてください。先輩研修医の雰囲気も実は大事です。

初期研修医処遇

身 分	会計年度任用職員		加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険
基 本 給	1年次	月額15,300円(月20日勤務の場合、月額306,000円)	当直手当	19,000円／回
	2年次	月額16,100円(月20日勤務の場合、月額322,000円)	通勤手当	有り
期末手当	1年次	年2回（年額489,600円以内）※1	宿 舎	有り(有料)
	2年次	年2回（年額772,800円以内）※1	その他手当	超過勤務手当
出 張	研修会等への参加有り（旅費支給有り）		そ の 他	病院見学は随時受け付けています。また、病院見学の際の旅費の一部を助成しています。（ただし、4年生以上） ※1 賞与額は、県立病院で勤務した期間（月数）に応じて変動します。
休 暇	年次有給休暇（1年次10日、2年次11日） 夏季休暇（年5日）			

募集要項

募集定員 12名(A:4名、B:4名、C:4名)
応募資格 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 1・2回目:令和4年7月下旬～8月(予定)
試験日程 1・2回目:令和4年8月(予定)
 ※ 詳細な日程は、県立病院局ホームページで公表
試験内容 面接

応募連絡先

所 在 地 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
担当部署 県立病院課 経営企画班
電 話 099-286-2820
F A X 099-286-5566
E-mail byouins@pref.kagoshima.lg.jp
U R L <http://hospital.pref.kagoshima.jp/>

鹿児島市医師会病院

病院の概要

所在地 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号
開設者 公益社団法人鹿児島市医師会
開設年月日 昭和59年6月1日
病院長 大迫 政彦
病床数 199床
診療科目 内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、婦人科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科、緩和ケア内科

医師数 31名（令和4年4月1日現在）
指導医数 15名
1日平均外来患者数 105.2人（令和3年度実績）
1日平均入院患者数 148.7人（令和3年度実績）



臨床研修プログラムの目的と特徴

【目的】

プライマリ・ケアに対応できる臨床医として多様な患者ニーズに対応できるよう、診療に関する必要な基本的知識・技能及び態度の修得を目的としています。

【特徴】

- 「基礎」…基礎に重点をおいた研修を行っており、臨床能力だけでなく、医師としての基本姿勢・態度が身につきます。
- 「手技重視」…私たちの臨床研修は少人数制。一人の研修医に対して、きちんとバックアップできる環境が整っているので、シミュレーションより手技を重視した研修に力を入れています。やりたいことをどんどんチャレンジできる。個人のレベルアップにつながる研修です。
- 「専門」…診療科ごとの垣根が低いので、他の科のドクターにも気軽に相談することができます。各科の専門的な立場から、患者・疾患の診療方法を学び、吸収することができます。
- 「救急」…二次救急医療病院として365日24時間救急患者の受け入れを行っているため、どの診療科にいても、十分に救急を経験することができます。

臨床研修スケジュール

- ★1年目：幅広い研修を行い、基本的な技術を身につける。
- ★2年目：自分の将来や希望に沿った研修が行えるよう、選択期間を長くとしたプログラム。

【1年目】			2021			2022		
第1～24週			第25～28週	第29～40週		第41～44週	第45～48週	第49～52週
内科 (必修) 24週			外科 (必修) 4週	救急科 (必修) 12週		小児科 (必修) 4週	産婦人科 (必修) 4週	精神科 (必修) 4週
【2年目】			2022			2023		
第53～56週			第57～104週					
地域医療 (必修) 4週			選択 48週(うち20週は当院での研修)					

※52週以上、当院での研修が必須です。
※上記のスケジュールは一例です。研修規定をベースに、個人の希望に応じたプログラムを作成できます。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島市立病院、鹿児島大学病院、総合病院鹿児島生協病院、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院、社会医療法人緑泉会米盛病院、公益財団法人慈愛会今村総合病院、鹿児島赤十字病院、霧島市立医師会医療センター、肝属郡医師会立病院、医療法人清泉会伊集院産婦人科

研修協力施設 県立大島病院、屋久島町栗生診療所、薩摩川内市下甕手打診療所、種子島医療センター

新専門医研修プログラム

受入可能な診療科がありますので、当院までご相談ください。

病院のアピールポイント

研修医からのメッセージ

●圧倒的な手技経験

当院の魅力の1つは、多くの場面で手技の経験を積めることです。
マンツーマンの手厚い指導のもとなので、安心して果敢にチャレンジすることができます。
体で覚えた感覚を忘れることなく、次の経験ができるということは、研修医にとって非常に大切だと思います。

●のびのび学べる環境

研修医が非常に歓迎されている環境なので、より積極的に多職種の方々とコミュニケーションが取れます。
なんでも気軽に質問しやすく、研修医がのびのび学べる環境だと思います。
やりたいことが定まっていなくても、病院の皆さんと一緒に考えて背中を押してくれるので、将来のビジョンが明確に定まっている人にも、これからやりたいことを考えたいという人にもぴったりの病院だと思います。

●垣根がない医療チーム

患者さんが入院してから退院するまで一連のことに関わることができるので、日々責任感とやりがいがあります。
部や課の垣根が低く、分からないことがあれば専門の部にすぐ質問できる環境が整っているので、安心して診療にあたることができます。

臨床研修医2年目
久保 敏大先生
(鹿児島大学出身)



* 研修実施責任者からのメッセージ *

当院は、規模は小さいですが、その分丁寧な指導で医師としての基礎固めが十分できる病院だと自負しております。
たくさん手技にチャレンジできるため、学べる幅が大きく広がります。ぜひ当院でお待ちしております！！

* 院長からのメッセージ *

開院以来堅持してきたモットー「垣根のない医療チーム」が研修医に伝わっていることに大きな喜びを感じています。当院は、開放型共同利用施設として、かかりつけ医との連携のもと鹿児島島の急性期医療の一翼を担ってまいりました。現在は、急性期を軸とした地域包括ケア・緩和ケア・在宅医療支援までシームレスな医療に取り組んでいます。そのため、当院での研修は幅広い疾患を経験することができ、また研修関連施設も多く個人の目標に応じたプログラムを組むことができます。ぜひ一度、病院見学にお越しいただき、当院の風通しの良さを感じてください。

初期研修医処遇

身 分	非常勤職員		加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
基 本 給	1年次	月額 400,000 円	当直手当	【平日】10,000円/回、【土・日・祝日】12,000円/回
	2年次	月額 420,000 円	通勤手当	医師会給与規程に準じる
賞 与	1年次	年2回（年額：420,000円）	住宅手当	医師会給与規程に準じる
	2年次	年2回（年額：420,000円）	宿 舎	県外出身者等のみ住宅支援あり
出 張	学会、研修会等への参加費用支給有		そ の 他	病院見学は随時受け付けております。 詳細は当院のHPまたは総務課までご連絡ください。 http://www.city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp/resident/
休 暇	4週6休制、日・祝日、夏季特別休日(8/14,15)、年末年始(12/29～1/3)、年次有給休暇(1年次10日、2年次11日)			

募集要項

募集定員 5名
応募資格 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 令和4年8月中旬（予定）
試験日程 令和4年8月中旬（予定）
試験内容 書類審査および面接

応募連絡先

所 在 地 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号
担当部署 事務部 総務課（瀬戸）
電 話 099-254-1125
F A X 099-259-1694
E-mail kasiihp@city.kagoshima.med.or.jp
U R L <http://www.city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp/resident/>

交通案内



バス
市電
車
「県庁前」バス停下車／徒歩1分
「郡元」電停下車／徒歩10分
鹿児島空港から60分、鹿児島ICから15分、
鹿児島中央駅から15分、天文館から15分

鹿児島市立病院

病院の概要

所在地 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号
開設者 鹿児島市
開設年月日 昭和20年4月
病院長 坪内 博仁
病床数 574床
診療科目 内科、糖尿病・内分泌内科、血液・膠原病内科、腎臓内科
脳神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科
腫瘍内科、リウマチ科、小児科、新生児内科、精神科
放射線科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科
乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科
歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科
医師数 常勤医140名、医員71名
指導医数 54名（令和4年4月1日現在）
1日平均外来患者数 792人
1日平均入院患者数 467人



臨床研修プログラムの目的と特徴

※現在、都道府県に申請中

プライマリ・ケアに対応できる基礎臨床能力と、医師として十分に社会貢献の出来る全人的医療を身に付けた臨床医を育成することを理念とし、多様な患者ニーズに対応できるよう、診療に関する必要な基本的知識、技能及び態度の修得を基本方針としています。

当院は、32診療科に加え、救命救急センター、成育医療センター、脳卒中センターを有し、救命救急センターでは、初期救急から第三次救急まで幅広く対応しています。小児救急医療、産科救急医療、脳神経外科救急医療、循環器内科救急医療など幅広い研修を受けることが可能です。さらに、国内有数規模を誇る新生児内科における研修も選択できます。

また、年間を通じて、救急センター当直が研修医輪番で行われており、その中の軽症患者を対象とした「ウォークイン外来」では、指導医のもと、研修医1、2年生が2人で診察から検査まで行い、初期対応の研鑽を積むことができます。

令和4年度より、従来のプログラムを「標準プログラム」として維持しつつ、新たに「成育医療プログラム」と「総合診療プログラム」を創設して、更に専門性の高い研修が受けられるようにしています。

臨床研修スケジュール

※現在、都道府県に申請中

プログラム	1 年 目												2 年 目												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
標準	内科				救急部門		外科		選択科目				地域医療	精神科	小児科	産婦人科	放射線科	救急部門	内科			選択科目			
	(16週以上)				(8週以上)		(8週以上)		(16週以上)				(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)			(16週以上)			
成育医療	内科				救急部門		産婦人科	小児科	新生児内科	成育医療				地域医療	精神科	放射線科	内科		外科	成育医療	選択科目				
	(16週以上)				(12週以上)		(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)				(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)		(8週以上)	(8週以上)	(12週以上)				
総合診療	内科						救急部門		外科	放射線科	地域医療	総合診療	精神科	小児科	産婦人科	内科			選択科目						
	(24週以上)						(12週以上)		(8週以上)	(4週以上)	(8週以上)		(8週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)			(12週以上)					

※上記の表は各プログラムのスケジュールの一例です。実際の研修順は診療科と協力病院等の組み合わせで作成します。

【選択科目における研修先】※選択科目における同一施設の院外研修は年8週（2か月）まで

院内研修	内科系	①腎臓内科 ②血液・膠原病内科 ③糖尿病・内分泌内科 ④脳神経内科 ⑤呼吸器内科 ⑥消化器内科 ⑦循環器内科 ⑧小児科 ⑨放射線科 ⑩新生児内科 ⑪病理診断科 ⑫総合診療部（一般外来の研修を並行して履修することも可）
	外科系	①消化器外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④乳腺外科 ⑤小児外科 ⑥整形外科 ⑦形成外科 ⑧脳神経外科 ⑨皮膚科 ⑩泌尿器科 ⑪産婦人科 ⑫眼科 ⑬耳鼻咽喉科 ⑭麻酔科 ⑮ICU ⑯救急科
院外研修	※1 協力型臨床研修病院（4か所）	①鹿児島大学病院（地域医療を除く全ての診療科） ②鹿児島医療センター（地域医療及び精神科を除く全診療科） ③鹿児島県立始良病院（精神科） ④医療法人有隣会伊敷病院（精神科）
	※2 臨床研修協力施設（6か所）※地域医療	①肝付町立病院 ②枕崎市立病院 ③公立種子島病院 ④南さつま市立坊津病院 ⑤小林市立病院 ⑥垂水中央病院 ※一般外来の研修を並行して履修することも可

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院

鹿児島大学病院（地域医療を除く全ての診療科）、鹿児島医療センター（地域医療及び精神科を除く全診療科）、鹿児島県立始良病院（精神科）、医療法人有隣会伊敷病院（精神科）

研修協力施設

肝付町立病院、枕崎市立病院、公立種子島病院、南さつま市立坊津病院、小林市立病院、垂水中央病院

新専門医研修プログラム

当院は、7つの基本領域の専門研修基幹施設であり、専門医の資格取得を目指すことができます。

- ①内科専門研修プログラム「造士館」 ②産婦人科研修プログラム ③麻酔科専門研修プログラム ④救急科専門研修プログラム
⑤総合診療専門研修プログラム「集成館」 ⑥形成外科研修プログラム ⑦鹿児島県地域整形外科専門研修プログラム

病院のアピールポイント

- 1 鹿児島県の中核的医療機関として多くの診療科を有しており、内科・外科・救急・周産期・小児医療を中心に学ぶことができます。
- 2 鹿児島県の救急医療の拠点となる「救命救急センター」や、全国でも最先端の治療を行う「成育医療センター」では、高度で専門性の高い医療を身に付けることができます。
- 3 研修医の指導にあたる指導医や上級医が多数在籍するなど指導体制も充実しており、高度医療機器の導入や、豊富な症例数と合わせて、臨床研修医として充実した研修プログラムとなっています。

初期研修医処遇

身 分	会計年度任用職員	加入保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
基 本 給	1 年次 月額259,500円	当直手当	会計年度任用職員の給与に関する規程に基づき支給
	2 年次 月額274,500円	通勤手当	あり（常勤職員と同様一定条件を満たす場合に支給）
賞 与	1 年次 年2回（年間1.5275月分）	宿舎(住宅手当)	なし
	2 年次 年2回（年間2.35月分）	その他手当	時間外勤務手当、休日勤務手当、退職手当等
出 張	学会等で演者としての参加には旅費支給あり	その他	参考：令和3年度平均総支給実績額（退職手当除く） 約5,900,000円
休 暇	年次有給休暇：1年次10日、2年次11日、 夏季休暇（3日）、産前産後休暇、忌引休暇等あり		

募集要項

- 募集定員** 19名（標準15名、成育医療2名、総合診療2名）
応募資格 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 令和4年7月中旬（予定）
試験日程 令和4年8月上旬（予定）
試験内容 書類審査、SPI3による総合検査及び面接試験

応募連絡先

- 所 在 地** 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号
担当部署 鹿児島市立病院総務課職員係
電 話 099-230-7002
F A X 099-230-7070
E-mail hpsou-syoku@city.kagoshima.lg.jp
U R L <https://www.kch.kagoshima.jp>

交通案内



- ・市電：鹿児島駅行き / 都元行き 電停「市立病院前」下車
- ・バス：鹿児島市営 15-2、25 番線 バス停「市立病院前」下車
南国交通 29 番線 バス停「市立病院前（JT 跡地前）」下車
- ・高速道路：九州自動車道「鹿児島インターチェンジ」より車で5分
- ・JR：鹿児島本線・指宿枕崎線「鹿児島中央駅」下車後、市電又はバスに乗り換え

鹿児島大学病院

病院の概要

所在地 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
開設者 国立大学法人 鹿児島大学
開設年月日 昭和49年9月1日
病院長 坂本 泰二
病床数 629床
診療科目 心臓血管内科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・甲状腺外科、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、心身医療科、泌尿器科、神経科精神科、小児科、小児外科、産科・婦人科、整形外科・リウマチ外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科

医師数 常勤医236名、医員266.5名（令和4年4月1日現在）
指導医数 123名（令和4年4月1日現在）
1日平均外来患者数 1168.2人（令和3年度実績）
1日平均入院患者数 515.8人（令和3年度実績）



臨床研修プログラムの目的と特徴

鹿児島大学病院の研修プログラム「桜島」は、下記のような目的と特徴があります。

1. 鹿児島大学病院と多数の協力病院を組み合わせるローテーション可能な合同（たすぎけ）プログラムです（大学病院のみも可能）。
2. 研修医の希望を最大限に考慮し、自分に合ったローテーションの作成が可能で、自由度の高いプログラムです（オーダーメイドプログラム）。
3. 研修開始後も、研修状況や進路に応じたローテーションの変更が可能で、柔軟性の高いプログラムです（フレキシブルプログラム）。
4. 多数の協力病院を組み合わせることにより、一次医療から三次医療まで幅広く研修できます。
5. 離島・へき地医療など鹿児島県の地理的特徴を生かしたプログラムに加え、北海道で2ヶ月間の地域医療研修を選択することができます。
6. 厚生労働省の提示した到達目標を達成し、2年間で研修修了ができるようサポートします。
7. 2013年に開設された総合臨床研修センターに多数のシミュレータを配置し、研修環境も充実しています。
8. 専任の教員・事務職員が、安心・快適に研修ができるよう親身になりバックアップします。
9. 後期研修医や専門医・医学博士取得などの多彩なキャリア形成支援に対応します（新・専門医制度にも対応しています）。
10. 院内保育園の設置や研修中の妊娠・出産、復職など女性医師支援に対応します。

臨床研修スケジュール

プログラム名：【桜島】

プログラム	1年目												2年目											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大学管理 コースA1	内科 (24週)						救急 (12週)			外科 (8週)			小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	一般外来 (4週)	選択						
大学管理 コースA2	内科 (24週)						救急 (12週)			小児科 (8週)			外科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	一般外来 (4週)	選択						
大学管理 コースA3	内科 (24週)						救急 (12週)			産婦人科 (8週)			外科 (4週)	小児科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	一般外来 (4週)	選択						
基礎研究医 プログラム	内科 (24週)						救急 (12週)			外科 (8週)			小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	一般外来 (4週)	選択			基礎医学教室 16週～24週			

- ・大学病院及び協力病院等で組み合わせるローテーションを作成します。
- ・研修の到達目標を達成するために、A1コースについては、外科8週（外科基本6領域4週＋外科系領域4週）及び精神科4週、小児科4週、産婦人科4週、A2コースについては小児科8週、産婦人科4週、精神科4週、外科4週（外科基本6領域4週）、A3コースについては産婦人科8週、小児科4週、精神科4週、外科4週（外科基本6領域4週）を必修とします。
- ・選択科目の中で、地域医療・地域保健を選択することも可能です。
- ・基礎研究医プログラムの基礎医学教室については、16週以上24週未満の間で行うことができます。
- ・基礎医学教室への配属については、臨床研修の終了要件を満たしたところで配属することになります。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島市立病院、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター、公益社団法人鹿児島県済会南風病院、公益財団法人昭和会いまきいれ総合病院、鹿児島市医師会病院、鹿児島県立大島病院、鹿児島県厚生連病院、公益財団法人慈愛会今村総合病院、独立行政法人国立病院機構指宿医療センター、社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院、出水総合医療センター、独立行政法人国立病院機構南九州病院、霧島市立医師会医療センター、肝属郡医師会立病院、公益財団法人慈愛会谷山病院、鹿児島県立始良病院、公益社団法人川内市医師会立市民病院、県民健康プラザ鹿屋医療センター、医療法人卓翔会市比野記念病院、垂水市立医療センター垂水中央病院、社団法人大島郡医師会病院、公立種子島病院、出水郡医師会広域医療センター、信州大学医学部附属病院、鹿児島生協病院、恒心会おぐら病院、小林市立病院、鹿児島赤十字病院、社会医療法人緑泉会米盛病院、医療法人青仁会池田病院

研修協力施設 薩摩川内市下甕手打診療所、肝付町立病院、鹿児島県加世田保健所、鹿児島県川薩保健所、鹿児島県始良保健所、鹿児島県鹿屋保健所、鹿児島県名瀬保健所、鹿児島市保健所、瀬戸内町へき地診療所、聖路加国際病院、医療法人人天会鹿児島こども病院、医療法人光智会産科婦人科のぼり病院、医療法人愛育会愛育病院、医療法人聖成会産科婦人科麻酔科柿木病院、社会医療法人聖医会サザン・リージョン病院、社会医療法人義順顕彰会種子島医療センター、長島町国民健康保険鷹巣診療所、曾於医師会立病院、奄美中央病院、徳之島診療所、種子島産婦人科医院、枕崎市立病院、宮上病院、J A北海道厚生連倶知安厚生病院、静仁会静内病院、国民健康保険東川町立診療所、社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院、利尻島国保中央病院、留萌市立病院、美穂町立国民健康保険病院、栄町ファミリークリニック、寿都町立寿都診療所、町立中標津病院、日高徳洲会病院、奥尻町国民健康保険病院、うえの内科循環器内科クリニック

新専門医研修プログラム

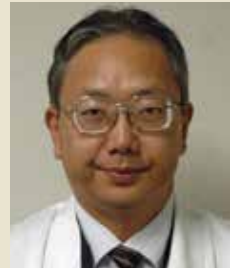
内科、外科、総合診療、救急、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、リハビリテーション、救急、病理、臨床検査部

病院のアピールポイント

鹿児島大学病院は、県内唯一の大学病院であり、ハイブリッド手術室や手術支援ロボットの設置、テレメディシンなど高度かつ先進的医療を提供しています。加えて、離島やへき地を多く抱えていることから鹿児島県の「最後の砦」として地域医療を守るという役割も果たしています。大学病院ならではの先端医療に精通した経験豊富な指導医が、研修医一人一人を丁寧に指導します。また、多くの病院と協力して、離島での地域医療研修から総合病院での一次・二次医療や都心の救命救急センターでの救急医療など多彩な施設から個人の目的に合わせたオーダーメイドなローテーションを組むことが可能です。

新病棟の最上階にある総合臨床研修センターでは、研修医専用部屋に個人専用デスクを設置し、桜島が一望できるラウンジルームでのリラックスタイムを過ごすこともでき、快適な研修環境が確保されています。UpToDateは、院内、自宅でも閲覧することが可能となり、学習環境がさらに向上しています。手技については、センター内のスキルスラボに各種シミュレータを配備し、基本的手技から高度な専門的手技に至る医療トレーニングがいつでも行える環境となっています。また敷地内にレジデントハウス（13戸）もあります。

初期研修から専門医修練に向けてシームレスな学習を継続することに加えて、先輩医師の大学院、留学などへの幅広い活躍を直に目にするすることで、将来の自分の姿をイメージしながら「桜島コース」でじっくり研修しましょう。



総合臨床研修センター長
サトウ マサミ
佐藤 雅美



総合臨床研修センター



学習室



ラウンジルーム



演習室



初期研修医処遇

身 分	非常勤職員	加入保険	健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険：適用
基 本 給	1年次	日額 9,075円	当直手当 15,000円/回（月4回まで）
	2年次	日額 9,075円	通勤手当 ～31,600円（上限）※交通機関の場合は運賃の相当額
賞 与	1年次	なし	宿舎(住宅手当) なし
	2年次	なし	その他手当 臨床研修手当:15万円/月
出 張	診療科によっては出張旅費支給有り	そ の 他	希望者は救急分野の宿日直可能（宿日直手当別途）
休 暇	有給休暇1年次（6ヶ月勤務経過後）10日、2年次11日、リフレッシュ休暇3日、夏季休業3日、冬季休業1日		

募集要項

- 募集定員** 51名
- 応募資格** 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
- 応募締切** 基礎研究医 令和4年5月31日
第1回：令和4年7月15日（金）
第2回：令和4年8月5日（金）
- 試験日程** 基礎研究医 令和4年6月予定
第1回：令和4年7月30日（土）
第2回：令和4年8月19日（金）
- 試験内容** 書類審査及び面接

応募連絡先

所 在 地 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

担当部署 鹿児島大学病院 総務課 臨床研修係

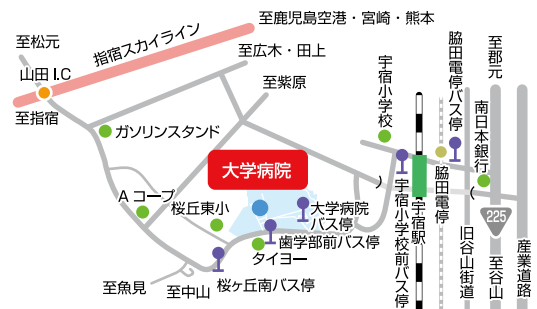
電 話 099-275-6726

F A X 099-275-6846

E-mail rinshou@kuas.kagoshima-u.ac.jp

U R L <http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~sotsugo/>

交通案内



- J R 指宿枕崎線「宇宿駅」下車1.4 km
（徒歩約15分、バス「宇宿小前」乗車約5分）
- 市 電 谷山線「脇田」電停下車1.5 km
（徒歩約15分、バス「宇宿小前」乗車約5分）
- バ ス 鹿児島市営：大学病院経由桜ヶ丘線（18番）
「大学病院前」下車

霧島市立医師会医療センター

病院の概要

所在地 〒899-5112 霧島市隼人町松永3320
開設者 霧島市
開設年月日 平成12年7月
病院長 河野 嘉文
病床数 254床
診療科目 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、糖尿病内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、消化器外科、小児外科、救急科
医師数 95名（常勤45名・非常勤50名）【2022.4.1現在】
指導医数 21名（指導医講習会受講済み）
1日平均外来患者数 285.6人（2021年度実績）
1日平均入院患者数 202.2人（2021年度実績）



（2024年10月完成イメージ）

臨床研修プログラムの目的と特徴

【目的】

医師としての社会的価値観を学び、さらにプライマリケアを中心とした基本的臨床能力を身につけ、患者様を全人的にみる能力を習得することを目標としています。

【特徴】

本院のプログラムは医師会運営病院として地域の中核病院である本院の特徴を活かした病診・病病連携による様々な症例が豊富であり、2次救急まで担う救急医療対応も経験できるプログラムとなっています。また、基本的臨床診療能力を身につけるため、県内外の協力型病院や施設でのたすき掛け研修も取り入れ、最終的に2年間の臨床研修期間で到達目標を達成すべく、多くの知識、技術、態度等の習得も可能です。

臨床研修スケジュール

★1年間で52週で換算し、2年にかけて初期臨床研修を行います。

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次 基本 スケジュール	内科						救急部門 麻酔科（上限4週まで可）		外科	小児科	精神科	産婦人科	
	24週						12週		4週	4週	4週	4週	
一般外来 （並行研修）	当院内科（総合診療科）○ 9週目より開始し、週1回以上とする						×		×	北薩病院○	×	×	
備考	当院診療科より選択						当院 救急科 又は協力型病院より選択 麻酔科…当院または鹿児島大学病院		当院又は 協力型 病院より選択	当院又は 協力型 病院より選択	協力型 病院より選択	協力型 病院・施設 より選択	

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
2年次 基本 スケジュール	地域医療	選択科目									選択科目（基幹型）		
	4週	36週									12週		
一般外来 （並行研修）	○	選択診療科による									選択診療科による		
備考	在宅医療含む 協力型病院・ 施設より選択	当院及び協力型病院・施設より選択									当院診療科より選択		

※当院必修科目の内科について…内科、消化器内科、循環器科、糖尿病内科、肝臓内科から選択します。

※研修の順番については、当院及び協力型病院（施設）とのスケジュール調整により、変更になる可能性があります。

※基幹型病院での研修が1年以上になる研修スケジュールとします。

※到達目標の達成度を考慮しながら研修病院（施設）の調整を行った上で、希望診療科を組めるよう自由な研修スケジュールを作成します。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島大学病院（救急部門、外科、精神科、産婦人科、選択科目）、県立北薩病院（小児科、地域医療、選択科目）、今村総合病院（救急部門、選択科目）、松下病院（精神科）、県立始良病院（精神科）、フィオーレ第一病院（産婦人科）、今給黎総合病院（産婦人科）、鹿児島医療センター（選択科目・全科）、南風病院（選択科目・全科）、鹿児島市医師会病院（選択科目）、麻生飯塚病院（選択科目・総合診療科）、JCHO 東京新宿メディカルセンター（選択科目・腎臓内科）、JCHO 東京高輪病院（選択科目・感染症内科）、国立国際医療研究センター（選択科目・糖尿病内分分泌代謝科、膠原病科）、自治医科大学附属病院（選択科目・アレルギーリウマチ科、呼吸器内科）、自治医科大学附属さいたま医療センター（選択科目・腎臓内科、呼吸器内科、内分分泌代謝科、リウマチ膠原病科、集中治療科）、川崎医科大学附属病院（救急部門：救急科）

研修協力施設 竹内レディースクリニック（産婦人科）、鹿屋医療センター（産婦人科）、池田病院（地域医療）、鹿児島赤十字病院（地域医療、選択科目）、薩摩川内市下甕手打診療所（地域医療）、瀬戸内町へき地診療所（地域医療）、宮上病院（地域医療）、佐藤医院（地域医療）、吉満内科クリニック（地域医療）

新専門医研修プログラム

霧島総合診療研修プログラム「地域医療マインドの醸成プログラム」を2019年度より開始しました。
詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

専門(後期)研修について

病院のアピールポイント

霧島市立医師会医療センターは、その名のごとく建物を霧島市が管理し、始良地区医師会が経営する“公設民営”の、人口13万人の霧島市をはじめ24万人の二次医療圏に対応した急性期中核病院です。

2024年には隣の敷地に新病院が完成し、以後新病院を中心とした機能移転の予定です。

これまで当院は、基幹型だけではなく協力型研修病院としても多くの先生方に参加いただき、地域に密着した医療が経験できたと高い評価を得ています。当院は地域の中核的公的病院として当地区医師会の先生方との密接な連携を介し、common diseaseを含め都会での病院では経験できない様々な疾患に対する医療まで十分体得していただけたと思います。

2020年度からの新臨床研修制度にて必須である一般外来研修に際し、2019年度より開設の総合診療科にても研修に対応できるよう整備しました。大学病院を含め紹介型の基幹病院では実行できない一般外来まで経験できることから、当院は大変恵まれた環境にある研修病院であると自負しております。

当院は各科専門医も多数在籍しており、アットホームな雰囲気の中各科との連携を深め、様々な専門領域を経験し知識を得ることも十分可能です。そして指導医のみならず、他科の医師、看護師、コメディカルなど全職員が研修医の皆様を全力でバックアップさせていただきます。しかしながら、まずは一医師として病歴聴取、身体所見のとり方、患者様との接し方など基本的診療を習熟していただく様、決してjump educationにならない研修を目標とし指導を心がけたいと思います。

当院は温暖かつ風光明媚な土地柄もあり、医師としての人生の一時期を霧島の地で過ごせたことが、その後の人生に決して無駄にならない“何か”を与えられるものと確信しております。



副院長
(プログラム責任者)
ハセガワ ススム
長谷川 将

【R4年度入職辞令交付式にて】



河野院長・始良地区医師会 佐藤会長・長谷川副院長(プログラム責任者)と

【オリエンテーションの様子】



採血手技実習



BLS研修

初期研修医処遇

身 分	常勤職員		加 入 保 険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（個人加入要）
基 本 給	1 年次	月額450,000円	当 直 手 当	25,000円/回（日当直回数：月3～4回/月）
	2 年次	月額470,000円	通 勤 手 当	なし
賞 与	1 年次	年2回（年額450,000円）	宿 舎（住宅手当）	あり（H30.2月完成賃貸アパート1LDK/住宅手当有り）
	2 年次	年2回（年額470,000円）	その他手当	扶養手当、時間外勤務手当
出 張	学会、研修会の参加可能（医局規程による旅費支給あり）		そ の 他	病院見学、オンライン個別説明会など随時受付しております。 当院ホームページよりお気軽にお申込みください。
休 暇	年次有給休暇（1年次10日、2年次11日）、夏季休暇、 誕生日休暇、慶弔休暇			

募集要項

- 募集定員** 4名
- 応募資格** 第117回医師国家試験受験予定の者及び既卒者で、2022年度医師臨床研修マッチングに参加する者
- 応募締切** 1回目: 令和4年7月下旬/2回目: 令和4年8月中旬
- 試験日程** 1回目: 令和4年8月上旬/2回目: 令和4年8月下旬
- 試験内容** 書類審査及び面接試験

応募連絡先

所在地 〒899-5112 霧島市隼人町松永3320番地

担当部署 事務部医療秘書課 研修医担当 井上

電 話 0995-42-1171

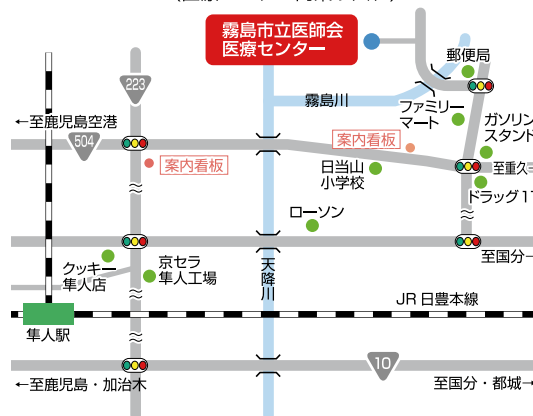
F A X 0995-42-2158

E-mail kmc-drkensyu@hayato-mc.jp

U R L <http://www.hayato-mc.jp>

交通案内

- JR 隼人駅より10分
- 鹿児島空港より10分
- 九州自動車道 空港インターより10分
- 東九州自動車道 隼人インターより15分
- 日豊本線 鹿児島中央駅~隼人駅約40分
- 岩崎バス 隼人・加治木・国分循環バス及び鹿児島方面へのバス(医療センター内乗り入れ)



総合病院鹿児島生協病院

病院の概要

所在地 〒891-0141 鹿児島市谷山中央5丁目20番10号
開設者 鹿児島医療生活協同組合
開設年月日 昭和50年
病院長 樋之口 洋一
病床数 306床（一般226床、地域包括ケア40床、回復期リハ40床）
診療科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、眼科、婦人科、泌尿器科、肛門外科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、救急科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、アレルギー科、病理診断科
医師数 61名（2022年4月1日現在）
指導医数 21名
1日平均外来患者数 243.7名（隣接診療所 371.2名）
1日平均入院患者数 258.7名



臨床研修プログラムの特徴

ローテーションの変更などいつでも相談に乗る臨床研修専任事務が状況に応じて可能な限り希望を取りいれるよう対応しています。

【目指せ！総合力の獲得！】

- 専門科にこだわらない基礎的かつ総合的な力量の獲得を目標としています。
- 整形外科や眼科で研修する医師もいます。また、鹿児島大学病院や九州内の民医連関連病院でも研修が可能です。
- 年間5,000件近くの入院があり、バランスよく多くの疾患を経験できます。また病棟処置医を担当することで多くの手技を早い時期に修得できます。（3回見学の後、指導医付き添いの下で行います）

【離島医療・救急医療】

- 離島医療が経験できる地域医療研修は、奄美群島の病院、診療所で実施します。
- 疾患の質的にも量的にもバランスの良い救急研修ができます。総合内科を中心に年間約2500件の救急車（うちCPA搬入件数は約60件）と1日約100人の受診者を24時間体制で診療しています。

【病院が、地域が、じっくりサポート】

- 研修開始の4・5月は他職種研修や基本的事項を研修する導入期。ゆっくり、じっくり研修を開始します。
- 研修担当指導医を相談役として配置。医局全体・病院全体で研修に取り組んでいます。
- 医療生協の特徴を活かし、地域住民とつくる医療活動・保健予防活動・社会保障・平和活動を研修。健康と社会との関係を習得します。

臨床研修スケジュール

【基本となるスケジュール】

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目	内科 (28週)							救急 (12週)		外科 (8週)		産婦人科 (4週)	
	一般外来												
週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
2年目	小児科 (8週)		地域医療 (8週)		精神科 (4週)								
	一般外来		一般外来										
選択 (32週)													

【ローテーション研修の例】

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目	内科			救急	外科		内科		小児科		精神科	産婦人科	
2年目	麻酔科（選択）		整形外科（選択）	地域医療 一般外来		救急		内科	内科（選択） 一般外来		救急（選択）		

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 国分生協病院（内科・地域医療）、健和会大手町病院（救急など/北九州市）、千鳥橋病院（内科・産婦人科など/福岡市）、沖縄協同病院（内科・救急など）、くわみず病院（内科・地域医療/熊本市）、慈愛会谷山病院（精神科）、鹿児島県立大島病院（産婦人科・選択）、鹿児島大学病院（選択）、今村総合病院（選択）など15病院

研修協力施設 愛育病院（産婦人科）、奄美中央病院（地域医療）、徳之島診療所（地域医療）、谷山生協クリニック（地域医療）、介護老人保健施設せとうち（保健・医療行政）、特別養護老人ホームにじの郷たにやま（保健・医療行政）など23施設

新専門医研修プログラム

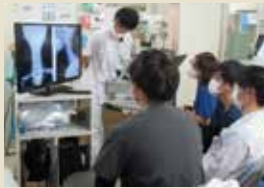
基幹プログラムとして「鹿児島生協病院内科専門研修プログラム」と「鹿児島生協病院総合診療専門プログラム」の2つがあります。その他の診療科については、連携施設として登録されています。

病院のアピールポイント

鹿児島生協病院は、「離島診療所を独力で担える医師になろう」を合い言葉に、研修医、指導医が一体となって、研修を築き上げてきました。病院全体としても「地理的な離島はあっても、人の生命(いのち)に離島があってはならない」という理念のもと、24時間救急を受け入れ、主に鹿児島市南部及び周辺の地域で責任を持って医療を提供出来るよう、努力を続けています。そして、その思いは現在も引き継がれ、general physician の育成に重きを置いた初期研修となっています。



研修プログラム責任者
副院長 循環器内科
春田 弘昭



<放射線技師による画像学習会>



<学生の訪問診察実習>



<退院前の患者宅訪問>



<研修医同士でも学習会>

【病院の特徴】

- 研修開始は基本的事項や他職種研修のある導入期研修を行います。
- 夜間当直研修を意識した講義(コアレクチャー)や学習会、カンファレンスを多数開催しています。
- 地域で開催される班会に医療講演講師として参加する等、地域住民との交流を深めながら地域医療を体験し学ぶことができます。
- 毎月行われる初期研修委員会での指導振り返りや年2回の研修医ポートフォリオ大会があります。
- 当院は、医局が一つです。全ての科の医師が、日常的にコミュニケーションを取り合い、様々な情報を得る事が出来ます。
- 研修指導医と専任事務を配置し、安全性を確保して、研修医一人一人丁寧に対応し、研修医が生き生き研修できる環境づくりを行っています。

初期研修医処遇

身 分	常勤職員		加 入 保 険	社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険
基 本 給	1 年次	5,058,690円（賞与含む）	当 直 手 当	17,000～44,000円/回
	2 年次	5,672,490円（賞与含む）	通 勤 手 当	0～100,000円（上限、高速代含む）
賞 与	1 年次	年2回	宿舎(住宅手当)	0～40,000円（上限）
	2 年次	年2回	その他手当	時間外手当、家族手当、通勤手当など
出 張	学会・研修会への参加（2つまで費用補償有）		そ の 他	病院見学は随時受付しています。4年生以上については、見学の際の旅費を一部補助しています。お気軽にお問合せください。
休 暇	日祝日、夏期休暇2日、年次有給休暇1年次10日（6ヶ月勤務経過後）・2年次11日、慶弔休暇など			

募集要項

- 募集定員** 10名
- 応募資格** 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、2022年度医師臨床研修マッチングに参加する者
- 応募締切** 2022年10月13日(木)
- 試験日程** 2022年6月4日(土)、7月2日(土)、7月30日(土)、8月6日(土)、9月3日(土)ですが左記以外の日程も希望にあわせ随時対応します。
- 試験内容** 書類審査及び面接・小論文

応募連絡先

所 在 地 〒891-0141 鹿児島市谷山中央5丁目20番10号

担当部署 医師事務補助課 臨床研修担当(内藤・長崎)

電 話 099-267-1455

F A X 099-260-4783

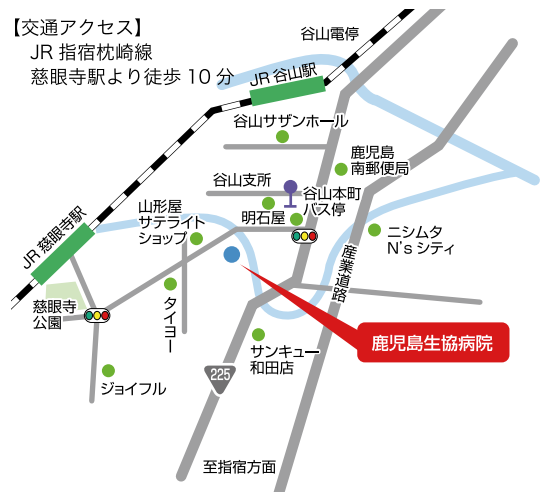
E-mail info@kaseikyohp.jp

U R L http://www.kaseikyohp.jp

交通案内

【交通アクセス】

JR 指宿枕崎線
慈眼寺駅より徒歩 10 分



南風病院

病院の概要

所在地	鹿児島市長田町14番3号
開設者	公益社団法人鹿児島共済会 理事長 貞方 洋子
開設年月日	昭和29年9月13日
病院長	末永 豊邦
病床数	338床
診療科目	内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、循環器内科、 消化器内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、 肝臓内科、ペインクリニック内科、緩和ケア内科、老年内科、 外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、 小児整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、病理診断科
医師数	99名《常勤69名、非常勤30名》（令和4年4月現在）
指導医数	26名（指導医講習会受講済み）
1日平均外来患者数	420.6名（令和3年度実績）
1日平均入院患者数	241.1名（令和3年度実績）



臨床研修プログラムの目的と特徴

プライマリケアを中心に、幅広く医師として必要な基本的知識、技能はもちろんのこと、患者さま及びコメディカルとのコミュニケーションのあり方について修得することを目的としています。

内科系、外科系ともに各領域の専門医の指導のもとに、救急患者を含む、広い領域の疾患を体験し、医師としての基本的診療能力を身に付けることができます。当院以外の協力型臨床研修病院、研修協力施設とともに、地域における中核的な病院・施設であり、優れた指導医のもとで、多くの臨床経験を積むことが可能です。最初の内科系における基本研修の後は、各診療科のローテーションの順序、研修期間を含めて、選択の幅を最大限に活用し、後期研修以降の個々人のキャリアの方向性に合わせた研修をおこなうことができます。また、救命処置のトレーニングとして、AHA BLS、ACLSを受講しライセンスを取得します。

プログラムをサポートするものとして定期的な講義・カンファレンス・エコー実習のほか、月1回の指導医と研修医を交えたミーティングをおこなっています。ミーティングでは、臨床研修の環境向上を目的として、プログラム責任者、研修実施責任者と研修医全員が参加して、研修上の課題や要望等について意見交換をしています。また、講義は1週間に1回を目安に、研修医から要望のあったテーマに対して、当院に勤務する医師が講義をおこなっています。研修医からの要望に基づいて実施しており、双方向での講義が実現しています。エコー実習では心臓エコー、腹部エコーについて各12回おこなっており、一定の技術を修得できます。またPET/CTやダヴィンチを利用したロボット手術などに触れる機会もありますので、基礎から最新医療まで豊富な症例から多くの事例を学ぶことができます。

緩和ケア病棟での研修も可能です。患者さまや家族の意向を十分に聞きながら、的確な診療とケアができる医師になれるよう、指導する立場の医師やコメディカルも熱心に取り組んでいます。「南風病院で研修して良かった」と感じてもらえるよう、研修の仕組みをさらに充実させるとともに、患者さまの生活全体を視野に入れた医療が提供できるように育てて欲しいと考えています。

臨床研修スケジュール

1年目	4月～9月	10月	11月～12月	1月	2月	3月
	※内科 (24週)	選択 (麻酔科)	※救急 (8週)	※外科 (4週)	※小児科 (4週)	※産婦人科 (4週)
	救急部門（当直）					
2年目	4月	5月	6月～3月			
	※精神科 (4週)	※地域医療 (4週)	選択			
	救急部門（当直）					

※必修項目

令和4年度の「臨床研修スケジュール」は、
現在鹿児島県へ申請中

救急部門（当直）は、2週間に1回を目安に当直を行うことで、救急部門における到達目標を達成する。研修期間としては4週に相当する。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島大学病院(選択(全診療科))、鹿児島市立病院(小児科、救急部門、産婦人科)、鹿児島市医師会病院(救急部門)、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター(選択)、霧島市立医師会医療センター(救急部門)、医療法人有隣会伊敷病院(精神科(必修、選択)、公益社団法人いちょうの樹メンタルホスピタル鹿児島(精神科必修)、鹿児島県立大島病院(救急部門、地域医療、選択)、出水郡医師会広域医療センター(救急部門、地域医療)、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院(救急部門、小児科、産婦人科、選択(全診療科))、国分生協病院(地域医療)

研修協力施設 薩摩川内市下瀬手打診療所(地域医療)、医療法人天翔会五反田内科クリニック(地域医療)、社会医療法人義順顕彰会種子島医療センター(地域医療)、社会医療法人童仁会池田病院(小児科)、うえの内科循環器内科クリニック(地域医療)、社会医療法人天陽会中央病院(選択(内科))、医療法人慈風会厚地脳神経外科病院(選択(外科))、医療法人清泉会伊集院産婦人科(必修、選択)、公益社団法人昭和会上町いまきいれ病院(選択)

新専門医研修プログラム

◆南風病院内科専門研修プログラム概要
日本内科学会『研修手帳(疾患群項目表)』に定められた内科領域の各種疾患について学ぶ事を目的とし、研修期間の3年間に於いて内科系診療科をローテーションするプログラムです。原則として1年目は当院で、2年目は各連携施設で、3年目は再び当院でローテーション(不足している履修項目を含む)を行います。診療科については、各専攻医のビジョン・履修状況に合わせて検討致します。

【ローテーションスケジュール(例)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	院 内 研 修											
	救急症例については各科救急対応／当直等にて履修する											
	内科			消化器			肝臓			腎臓		
2年目	院 外 研 修											
	血液			膠原病			循環器			地域医療（へき地）		
										地域医療（在宅）		
3年目	院 内 研 修											
	救急症例については各科救急対応／当直等にて履修する											
	呼吸器・感染症 アレルギー			神経			循環器			内分泌・代謝		
										緩和		
										不足症例 履修など		

専門(後期)研修について

病院のアピールポイント



プログラム責任者
ニイハラ
新原Dr

当院は内科系、外科系、放射線科、病理診断科から構成されている急性期病院です。医局は一つで診療科間の隔たりがなく、各科の医師が、お互いに助け合いながら診療にあたっていることが当院の最大の長所です。この点は研修医指導にも生かされており、各科の専門的立場からの意見を参考にしながら、一人ひとりの患者さまを総合的見地から診ることができるよう医師育成を目指した指導をおこなっています。指導医も参加する研修医症例カンファレンスでは、それぞれが各科で経験したことを発表し合い、各人の経験の共有化と問題点のディスカッションを行うことで、プレゼンテーション能力の向上を目指しています。指導医は時に失敗談や過去の経験などをコメントしながら、研修医が意欲的に研修を全うできるよう配慮しています。さらに週1回の各科医師による講義や腹部・心エコー実習もおこなっており、南風病院で学べば必ず一定のレベルに到達できるような充実した研修システムを築いています。南風病院のもう一つの特徴は、各科が学会・論文発表などを積極的におこない、高いレベルでの診療を患者さまへ提供しようとする強い志を持っていることです。研修医・専攻医にも積極的に学会・論文発表をしてもらうように奨励されており、病院も支援してくれる体制が整っているため、学術面でも将来への飛躍の礎になるような研修プログラムを準備しています。Global standardで診療をおこなうために、医局には各部門の国際的英文雑誌も整備され、Up to dateでの検索も可能になっています。さらに、当院は地域医療支援病院であるため、紹介患者の比率が高く、初期研修に必要な多様な症例を経験することが可能です。また、MRI、CT、RI、PET、超音波診断なども院内で全て迅速に対応することができるので、効率的で精度の高い診断に基づいた初期研修を受けることが可能です。南風病院で研修を受け、地域に、そして世界に飛翔する医師を育成することが私たちの目標です。



採血実習



外科研修風景

初期研修医処遇

身 分	研修医(常勤)	加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険
基 本 給	1年次 月額 430,000円	当直手当	平日：10,000円～/土曜：15,000円～/日祝：20,000円～
	2年次 月額 450,000円	通勤手当	なし
賞 与	1年次 夏季 200,000円 冬季 200,000円	宿舎(住宅手当)	単身用あり(病院徒歩2分/家賃月額20,000円～)
	2年次 夏季 200,000円 冬季 200,000円	その他手当	時間外勤務手当
出 張	学会等への発表、参加あり(旅費支給あり)	そ の 他	協力型病院での研修中は、当該病院の処遇を適用する場合があります。
休 暇	年次有給休暇(1年次10日、2年次11日)、年末年始休暇(12月30日～1月3日)		

募集要項

募集定員 5名
応募資格 第117回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 令和4年8月初旬～中旬頃
試験日程 令和4年8月中旬頃
試験内容 面接

応募連絡先

所在地 鹿児島市長田町14番3号
担当部署 人事課(担当：荒川)
電 話 099-226-9111(代表) 099-805-2457(直通)
F A X 099-225-8096
E-mail recruit@nanpuh.or.jp
U R L http://www.nanpuh.or.jp/

交通案内

【交通アクセス】

J R 鹿児島中央駅下車/車約15分
鹿児島駅下車/車約3分、徒歩約10分
市電 桜島橋通り電停下車/徒歩約5分
バス 鹿児島市営バス11番線
下尾尾バス停下車/徒歩3分



米盛病院

病院の概要

所在地	〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目7-1
開設者	社会医療法人緑泉会
開設年月日	昭和44年12月10日
病院長	米盛 公治
病床数	一般506床
診療科目	整形外科、救急科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、 血管外科、消化器外科、形成外科、内科、循環器内科、 呼吸器内科、消化器内科、心療内科、放射線科、産婦人科、 リハビリテーション科、リウマチ科、小児科、麻酔科
医師数	73名（2022年4月現在）
指導医数	25名（指導医講習会受講済み）
1日平均外来患者数	215.9名
1日平均入院患者数	461.8名



臨床研修プログラムの目的と特徴

【目的】

- ① 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）および、医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付ける
- ② プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を養う
- ③ 僻地・離島の救急医療をはじめ、あらゆる救急医療に対応するための基礎臨床能力を養う

【特徴】

『少人数制だから叶う、ファーストタッチから携わる環境。トライ＆フィードバックによる着実なスキルアップ。』

- 身近な症例から多発外傷などの超急性期まで、外科系・内科系を問わず、初期研修のうちに経験すべき症例が多く集まります。
- 2014年の新築移転を機に、最新鋭のハイブリッドERや民間医療用ヘリなどを導入。充実したハード環境で研修を行えます。
- 救急科では、初期治療からリハビリまで患者様と継続して関われるので、体系的にプライマリ・ケアを学べます。また、各診療科の専門医と協働する機会も多く、幅広い知識や経験を得られます。
- 「米盛病院救急相談ダイヤル#7099」経由のウォークイン外来もあるため、軽症・重症、診療科を問わず、多様な症例に携われます。
- 総合診療外来を週5日設けており、外来から入院まで一通りコモンディーズを経験できます。
- 病院併設の「米盛ラーニングセンター」には、講堂・講義室・シミュレーションルームを完備。各種シミュレーターを使ったトレーニングが可能。また、BLS、ICLSなどの各種コースも定期的開催されており、救急の基本的診療や救命処置を体系的に学ぶ機会が多くあります。

臨床研修スケジュール

1 年 次	オリエン (2W)	救急部門 (12W)	外科 (5W)	麻酔科 (4W)	内科① (19W)	内科② (10W)
2 年 次	小児科 (4W)	産婦人科 (4W)	地域医療 (8W)	精神科 (4W)	選択＜内科・救急部門・外科・麻酔科・整形外科＞ (32W)	

【2年次必修科目】地域医療…薩摩川内市下甕手打診療所または宮上病院（4週）、鹿児島県立薩南病院または小原病院（4週）／小児科…鹿児島こども病院／産婦人科…産科婦人科のぼり病院／精神科…メンタルホスピタル鹿児島

【2年次選択科目】鹿児島市医師会病院（内科）、鹿児島県立薩南病院（内科）、米盛病院（内科、救急部門、外科、麻酔科、整形外科）から選択

【その他】一般外来研修…内科（各病院）、小児科（鹿児島こども病院）、地域医療（薩摩川内市下甕手打診療所・宮上病院・鹿児島県立薩南病院・小原病院）において並行して行う／在宅医療研修…地域医療研修（薩摩川内市下甕手打診療所・宮上病院）において並行して行う

※現在、都道府県へ申請中

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島市医師会病院（内科）、鹿児島県立薩南病院（内科、地域医療）、鹿児島こども病院（小児科）、メンタルホスピタル鹿児島（精神科）、産科婦人科のぼり病院（産婦人科）

研修協力施設 薩摩川内市下甕手打診療所（地域医療）、宮上病院（地域医療）、小原病院（地域医療）

新専門医研修プログラム

整形外科プログラム、救急科プログラム

- 整形外科には20名強、救急科には10名強の常勤医が在籍しています。様々な専門や経歴を持っているので、進路相談においても強い存在です。
 - ロールモデルとなる先輩(専攻医)も複数名在籍していますので、気軽に相談できる環境があります。
 - 専門研修修了後も引き続き経験を積むことができます。
- 例) 整形外科と救急科のダブルボードを目指したい、サブスペシャリティ領域である脊椎脊髄外科指導医・外傷専門医のプログラムへ進みたい、集中治療に進みたい など

病院のアピールポイント

【卒後臨床研修センター長(プログラム責任者)梅澤Dr.からのメッセージ】

米盛病院は2022年度から基幹型臨床研修病院として初期研修の受け入れをスタートした、506床の急性期病院です。

私たちは、初期研修で大切なことは、一つひとつのカリキュラムをしっかりクリアすることだと考えています。研修医一人ひとりに考え方や得手不得手があると思いますので、無理のないペースで着実なスキルアップを目指します。

また、募集枠が2名と少人数制なので、一人ひとりの興味や進みたい方向に合わせたフレキシブルな対応が可能です。ロールモデルとなる先輩(専攻医)や若手医師も複数名在籍していますので、気軽に相談できる環境もあります。ぜひ一度見学にお越しください(^ ^)

【よくあるご質問 Q&A】

[Q1] 病院見学の際に何科を見学したらいいですか？ → [A1] 救急科には内科系・外科系に関わらず様々な専門医が在籍しているので、進路相談も含めて幅広いお話ができます。もちろん、整形外科など興味のある科はぜひリクエストしてください。指導医や先輩医師との面談も設けていますので、不安に思っていることなど何でも聞いてみてください。

[Q2] 当直は何人体制ですか？ → [A2] 上級医2~3名プラス研修医となります。診療には上級医と一緒にあたるので、相談や質問ができる環境です。ご安心ください。当直中の救急対応平均件数は、救急車5~10件程度、ウォークイン10~15件程度です。

[Q3] 試験内容は何ですか？ → [A3] 面接のみになります。形式張った面接というよりも面接官と語り合っていたくというイメージが近いかもしれません。将来の目標や医療への思いなどをご自身のことばでお話いただければ大丈夫です。どうぞ普段通りのご自身の姿で臨まれてください。



民間医療用ヘリ Red Wing



救急カンファレンス



米盛ラーニングセンター

初期研修医処遇

身 分	常勤研修医	加 入 保 険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
基 本 給	1 年次	月額 450,000円 (当直手当含まず)	当 直 手 当 平日20,000円/回 (月4回程度)、土日祝25,000円/回 (月1回程度)
	2 年次	月額 470,000円 (当直手当含まず)	通 勤 手 当 —
賞 与	1 年次	年額 450,000円	宿 舎 (住 宅 手 当) 徒歩圏内の法人専用マンション (単身用) あり
	2 年次	年額 470,000円	そ の 他 時間外手当、処置手当
出 張	学会参加支援制度あり (旅費・宿泊費の支給)	そ の 他	医師賠償責任保険は個人加入です (病院負担あり) 病院見学やお問い合わせはお気軽に！お待ちしております
休 暇	年次有給休暇、特別休暇 (慶祝休暇、忌引休暇など)、リフレッシュ休暇		

募集要項

募集定員 2名
 応募資格 医師臨床研修マッチングプログラム参加者で、
 2023年医師免許取得見込み者または医師免許取得者
 応募締切 定員に達するまで
 試験日程 8/20 (土)、22 (月)、27 (土)、29 (月)
 試験内容 面接

交通案内



応募連絡先

所 在 地 〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目7-1
 担当部署 医師採用事務課 白石・畠中
 電 話 099-230-0100 (代表)・099-230-0114 (採用直通)
 F A X 099-230-0101
 E-mail sshiraishi@yonemorihp.jp
 研修医募集WEB
 U R L <https://www.yonemorihp.jp/recruitsite/job/resident/>



令和4年度 協議会イベントスケジュール

4月 研修医歓迎レセプション（延期）

5月 第1回オンライン合同説明会

6月 第1回臨床研修病院合同説明会（対面式）
イベント出展（福岡）

7月

8月 臨床研修病院見学バスツアー
第2回臨床研修病院合同説明会（対面式）

9月

10月 第2回オンライン合同説明会
臨床研修医合同研修会

11月 指導医養成講習会
イベント出展（福岡）

12月

1月 臨床研修医合同研修会

2月 第3回オンライン合同説明会

3月



▲▲▲県外医学生等出前セミナー随時開催▼▼▼

オンライン開催を除くイベントについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、随時開催の可否を検討してまいります。

研修医歓迎レセプション

4月から鹿児島で研修を始められる研修医の皆さんを、県や医師会などが盛大に歓迎!これから2年間で過ごす同士と食事を交えながら楽しく交流できます。

臨床研修病院合同説明会

県内の全ての基幹型臨床研修病院が集結し、各病院の魅力や研修内容の特徴を説明します。(オンライン:5月、10月、2月、対面:6月、8月)

オンライン方式では、各説明会の約1週間前に、病院選びに迷っている方などを対象とした、コンシェルジュ相談会も開催します。

対面方式では、病院毎にブースを設けて、個別相談に応じます。

臨床研修病院見学ツアー

医学部4、5年生を対象に、県内の臨床研修病院2～3箇所を1日かけて見学するツアーです。本格的な病院見学の前段階として、病院の雰囲気等を味わうことができますと、参加者からは毎回好評です。

指導医養成講習会

研修医を指導するための指導医となるための講習会を毎年開催!協議会では、研修医の皆さんが充実した研修を過ごせるように、指導医の養成にも力を入れています。

臨床研修医合同研修会

県内の研修医が一堂に会する合同の研修会!研修で経験する症例や思うことを発表するだけでなく、指導医と共に座長をする研修医も!他院の研修医発表に刺激ももらえます。

県外医学生等出前セミナー(随時)

☆**県外在住の医学生必見!**☆

研修医や指導医が、あなたが住む町に直接お伺いし、研修内容を説明します。土日平日いつでも、1人の参加から開催します。**(オンライン形式でも対応します!!)**

イベントへのブース出展

民間企業が開催する合同説明会に、「オールかごしま」としてブースを出展します。(例年、マイナビPRESIDENT FESTIVAL、レジナビフェア、eレジフェア等に年間5回程度出展・今年度はイベントの開催状況等により出展を決定します。)

令和4年度のイベントスケジュールについては、**新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、随時開催の可否を検討してまいります。**企画の詳細が決まり次第、当協議会の公式ホームページにて御案内します。

公式ホームページ <https://kagorinsho.jp/>

また、「オールかごしま」メールマガジンに登録していただければ、準備が出来た企画を、当協議会より都度メールにて御案内いたしますので、ぜひ「オールかごしま」メールマガジンに御登録ください!!

先輩達からのメッセージ



研修医に対しての先生方の細かいケアが、私たちのやる気を沸き立たせます。



患者さんもスタッフもみんなあたたかい。自分にあった土地柄が決め手になりました。



勉強だけでは気づかない患者さんとの関わりの実感しています。



自分のしたいことをさせてくれる病院を見つけることが一番大切です。



自由度の高い研修プランで、自分のいるいる可能性が広がりました。



スタッフ同士のコミュニケーションも多く、県外のハンディが無いことが魅力です。



研修医の熱意に応えてくれるのでやりがいがあり、とても勉強になります。



「失敗を恐れない」勇気をもらい、ここでしかできない医療を見られます。



色々なことをらせてくれるので、とても良い経験になります。



鹿児島流
熱いハートの医師、育てます。

公式WEBサイトはこちら ▶ <https://kagorinsho.jp/>



公式LINEアカウント友達募集中!!



令和4年5月発行

お問い合わせ先

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会

鹿児島県くらし保健福祉部医師・看護人材課内

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL : 099-286-2581 FAX : 099-286-5928

E-mail : iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp